
第 34 報 平成 24 年 3 月 26 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

財団法人 経済調査会

【ストレートアスファルト・アスファルト混合物】

JXの仙台製油所でストレートアスファルトの生産が再開されたことにより、コスモ石油千葉製油所を除いて、ほぼ震災前の状態に復旧した。また、コスモ石油の千葉製油所では生産は行っていないものの、2油種の出荷再開にこぎつけるなど、生産・供給設備の復旧は着実に進んでいる。

一方、価格面では、不安定な中東情勢の影響で原油価格が大幅に上昇していることに加えて、円安傾向にあることから、今後、ストレートアスファルトの価格上昇は避けられない見通し。先行きは、強含みで推移する公算が大きい。

【敷き鉄板】

東北、関東地区を中心に震災工事向け需要が旺盛で、需給はひっ迫している。

年度末にかけては、少しずつではあるがリースからの返却材が発生し、一部賃貸業者にも保有量を積み増す動きも見られるものの、大型案件の出件が増加傾向にあるため、当面、ひっ迫した状況は続く見通し。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

【ストレートアスファルト供給情報】

①製油所の状況について

2012/3/22確認

製油所・工場名	所在地	稼動状況	出荷状況		備考	
			陸上出荷	海上出荷		
JX日鉱日石 エネルギー	仙台製油所	宮城県	○	○	○	生産体制は震災前の水準まで復旧。全グレード出荷再開は4月初旬を予定。
	鹿島製油所	茨城県	○	○	○	通常通り出荷。
	根岸製油所	神奈川県	○	○	○	通常通り出荷。
コスモ石油	千葉製油所	千葉県	×	○	×	針入度80-100は通常どおり陸上より出荷。針入度60-80についても在庫分のみのお荷を再開。
	四日市製油所	三重県	○	○	○	通常通り出荷。
	堺製油所	大阪府	—	—	—	2010年3月より生産停止。 (燃料油は生産・出荷中)
	坂出製油所	香川県	○	○	○	通常通り出荷。
昭和シェル	東亜石油(株) 扇町工場	神奈川県	—	—	—	2011/8/11をもって、陸上、海上出荷ともに出荷を終了。また、同日より横浜アスファルト基地から陸上出荷開始。
	昭和四日市石油(株) 四日市製油所	三重県	○	○	○	通常通り出荷。
	西部石油(株) 山口製油所	山口県	○	○	○	通常通り出荷。

※稼動状況：工場が製造を継続している場合は「○」、稼動していない場合は「×」で表示。

※出荷状況：出荷している場合は「○」、出荷していない場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

JXの仙台製油所でストレートアスファルトの生産が再開されたことにより、コスモ石油の千葉製油所を除く製油所がほぼ震災前の状況に復旧した。また、コスモ石油の千葉製油所では生産は行っていないものの、2油種の出荷再開にこぎつけるなど、生産・供給設備の復旧は着実に進んでいる。

東北エリアの生産拠点が復旧したことで、以前より柔軟な出荷対応が可能となった。しかしながら、特定の時期、特定の地域に需要が集中した際の供給懸念は依然残っており、アスファルトの安定供給・確保を図るうえでの確かな需要予測が引き続き不可欠とみられる。

【ストレートアスファルト供給情報】

③各県(地域)への供給状況について

2012/3/22確認

地区	都道府県名	供給動向				価格動向		
		供給可否	運搬車両	運搬経路	備考	現状	先行き	変動要因
北海道	北海道	○	○	○		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
東北地区	青森県	△	△	△		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
	岩手県	△	△	△		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
	宮城県	△	△	△	JX仙台が3月から生産を再開。全グレード出荷再開は4月初旬を予定。	横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
	秋田県	△	△	△		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
	山形県	△	△	△		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
	福島県	△	△	△		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
関東地区	茨城県	○	△	○	6月3日鹿島石油から出荷再開。	横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
	栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野	○	△	○	コスモ石油千葉製油所では、2月3日から80-100、3月16日から60-80の出荷を再開。	横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
北陸地区	新潟・富山・石川・福井	○	△	○	新潟県内の車両は不足状態。	横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
中部地区	静岡・愛知・岐阜・三重	○	○	○		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
近畿地区	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	○	○	○		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
中国地区	岡山・広島・山口・鳥取・島根	○	○	○		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
四国地区	香川・愛媛・徳島・高知	○	○	○		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
九州地区	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	○	○	○		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。
	沖縄県	○	○	○		横ばい	強含み	円安、原油高の影響から4月以降、大幅な価格上昇が見込まれている。

※供給状況:供給できる場合は「○」、供給できない場合は「×」で表示。

※運搬車両:ローリー車が充足している場合は「○」、一部、運搬車両不足により供給が遅れることがある場合は△、運搬車両の手当てが出来ないまたは、運搬ルートが確保できない場合は「×」で表示。

※運搬経路:震災前までに行っていた運搬ルートに変更が無い場合は「○」、運搬ルートに変更がある地域が一部生じている場合は「△」、運搬ルートの変更を余儀なくされている地域がほとんどの場合は「×」で表示。

④その他(今後懸念される事項、他地区とは異なる価格動向等)

中東情勢が不安定なことなどから大幅に原油価格が上昇していることに加えて、円安傾向にあることから、今後のスト・アス価格上昇は避けられない見通し。先行きは強含みで推移する公算が大きい。

【アスファルト混合物供給情報】

①各県(地域)への供給状況について

2012/3/22確認

地区	都道府県	供給動向					価格動向		
		出荷 状況	燃料		運搬 車両	備考	現状	先行き	変動要因
			工場 設備	運搬 車両					
北海道	北海道	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
東北 地区	青森県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
	岩手県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
	宮城県	前年並 以上	○	○	△	ガレキ処理、復旧工事等が本格化するなか、運搬車両の需給にひっ迫感が強まっている。	横ばい	強含み 横ばい	運搬車両の需給ひっ迫に加え、原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
	秋田県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
	山形県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
	福島県	前年並 以上	○	○	△	退避指示により稼働していないプラントが2工場ある。	横ばい	強含み 横ばい	運搬車両の需給ひっ迫に加え、原材料価格の大幅上伸は、避けられないとし、値上げ打ち出し。
関東 地区	茨城県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
	栃木・群馬・埼玉・ 千葉・東京・神奈 川・山梨・長野	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
北陸 地区	新潟・富山・石川・ 福井	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
中部 地区	静岡・愛知・岐阜・ 三重	前年並 以上	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
近畿 地区	滋賀・京都・大阪・ 兵庫・奈良・和歌 山	減少	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
中国 地区	岡山・広島・山口・ 鳥取・島根	減少	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
四国 地区	香川・愛媛・徳島・ 高知	減少	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
九州 地区	福岡・佐賀・長崎・ 大分・熊本・宮崎・ 鹿児島	減少	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。
	沖縄県	減少	○	○	○		横ばい	横ばい	原材料価格の大幅上伸が避けられないとして、値上げ打ち出し。

※出荷状況：前年並み・前年以上に出荷がある場合(対前年95%以上)は「前年並以上」、前年より出荷が少ない場合(対前年80～95%)は「減少」、前年より出荷が少ない場合(対前年80%未満)は「大幅減」で表示。
 ※燃料(工場設備)：工場設備の稼働に対するエネルギーが充足している場合は「○」、一部、不足することが生じる場合は「△」、不足することが多い場合は「×」で表示。
 ※燃料(運搬車両)：主に軽油が充足している場合は「○」、一部、不足することが生じる場合は「△」、不足することが多い場合は「×」で表示。
 ※運搬車両：混合物出荷のためのダンプトラックが充足している場合は「○」、一部、手当てしづらい日が生じている場合は「△」、十分に手当てできない状態の日が多い場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項、他地区とは異なる価格動向等)

出荷量は中部以西でも前年水準に近づいてきているものの、依然として低調な水準で推移。年度末の需要期も、供給が滞るなどの懸念されていた問題は生じていない。ただ年度明けも、各地で例年よりも大型の案件が予定されており、アスファルトおよびアスファルト混合物輸送のローリーやダンプの需給ひっ迫による供給面での懸念は払しょくされていない。
 円安・原油高に転じており、今後のストレートアスファルト価格上昇は避けられない見通し。このため、アスファルト混合物メーカーでは、スト・アス価格や製造および運搬に関わる燃料コストの上昇分を価格に転嫁すべく、値上げを打ち出している。

【改質アスファルト供給情報】

①製造拠点(工場等)の状況について

2012/3/22確認

工場名		所在地	稼働状況	出荷状況	備考
日進化成	東北工場	岩手県	○	○	通常稼働中。
	関東工場	埼玉県	○	○	通常稼働中。
ニチレキ	青森工場	青森県	○	○	通常稼働中。
	仙台工場	宮城県	○	○	通常稼働中。
	千葉工場	千葉県	○	○	通常稼働中。
東亜道路	青森工場	青森県	○	○	震災前の状況に戻っている。
	岩手工場	岩手県	○	○	震災前の状況に戻っている。
	宮城工場	宮城県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	福島工場	福島県	○	○	震災前の状況に戻っている。
	茨城工場	茨城県	○	○	震災前の状況に戻っている。
	群馬工場	群馬県	○	○	震災前の状況に戻っている。
	千葉工場	千葉県	○	○	震災前の状況に戻っている。
	神奈川工場	神奈川県	○	○	震災前の状況に戻っている。
	長野工場	長野県	○	○	震災前の状況に戻っている。
昭和シェル	瀝青化学 袖ヶ浦工場	千葉県	○	○	設備稼働、出荷に問題なし。
	三重プラント	三重県	○	○	設備稼働、出荷に問題なし。

※稼働状況:工場が製造を継続している場合は「○」、稼働していない場合は「×」で表示。

※出荷状況:出荷している場合は「○」、出荷していない場合は「×」、燃料、原材料がなく出荷できない場合は「△」で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

年度末の需要期を迎え、改質アスファルト製造メーカーではストレートアスファルトの調達難を懸念する向きもあるが、現在まで大きな問題は生じていない。
また、4月以降にストレートアスファルトの大幅な価格上昇が見込まれており、改質アスファルトメーカーでも大きなコスト負担を抱えることになるため、製品価格へ転嫁する動きを強めるものとみられる。

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	3月6日	供給体制は平常通りとなっている。被災地区の需要は比較的好調だが、全国的に不需用期に入っているなか、1月の入荷量が多かったことにより、需給はやや緩和。市況は弱含み推移となっている。	やや緩和	弱含み
共通資材	木材	226 ～ 229	仮設・土木用 木材	3月6日	復興工事向けの引き合いは見られるが、本格的な需要には結び付いておらず、荷動きは鈍い。このため、供給能力に問題はなく、材料供給は安定している。	均衡	横ばい
共通資材	木材	230 ～ 237	一般建築用 木材	3月6日	荷動きは好調であるが、大工職人の不足に伴い工事量が制限されているため、結果的に材料の供給に支障が出るまでには至っていない。	均衡	横ばい
共通資材	塗料・石油製 品	250～252	石油製品	3月9日	中東情勢の緊迫化を背景とした原油急騰と円安によるコスト上昇を理由に、元売各社が卸価格を大幅に引き上げたため、市況は上伸。また、東日本大震災で被災したJX仙台製油所は3月中に稼働再開の見通し。 【軽油】元売の減産や製品輸出により市中の在庫量が減少する中、流通側が売り腰を強めたため価格は上昇。 【灯油】全国的な寒波により引き合いは活発で、需要期後半も流通側の販売競争は見られず、価格は強基調で推移している。	ややひっ迫	強含み
土木資材	軽仮設資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	3月8日	東北地区では東日本大震災復興工事向けの引き合いが増えてきたものの、現時点では供給能力に問題はない。 被災地以外の供給は平常どおり。	ややひっ迫	横ばい
土木資材	軽仮設資材	260 264	ブルーシート 土のう	3月8日	ブルーシート、土のうとも東日本大震災後、メーカー、販売店は在庫を積み増しており、供給能力に問題はない。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	各種 賃貸料金	265 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	3月9日	がれき撤去等の作業が落ち着きを見せ、需要は復旧作業向けに徐々にシフトする状況にある。資材運搬等のためのダンプトラックの需要は依然多く、他県からの搬入も見られる。 一方、発動発電機の引き合いは減少傾向にあり、需要は落ち着きを見せている。その他の建設機械・器具についても、ここ最近、全国大手事業所の新規購入がすすんだこと、震災向け機械の返却が増加したことなどにより、需給は均衡を保っている。	均衡	横ばい
共通資材	各種 賃貸料金	274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	3月23日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 東北、関東地区を中心に震災需要への荷動きが活発化しており、需給ひっ迫感は非常に強い。 各賃貸業者は、需要低迷を背景に従前から在庫量を圧縮してきており、いまだに震災需要の全体量が把握できないことから、大勢に在庫補充する動きは見られず、現状では西日本の各社工場から不足材料を供給しているもよう。一部賃貸業者で保有量の増加や、減少した償却材を補填する動きが見られるが、 大型案件の出件が増加傾向にあり、このまま需給はタイトなまま推移しよう。 【敷き鉄板】 東北、関東地区を中心に震災工事向け需要が旺盛で、需給はひっ迫している。年度末にかけては、少しずつではあるがリースからの返却材が発生し、一部賃貸業者にも保有量を積み増す動きも見られるが、大型案件の出件が増加傾向にあり、当面、ひっ迫した状況は続く見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	3月6日	被災した工場は、事業停止となった2工場を除いて稼働を再開しており、納期が3週間程度必要であった長尺品についても供給は平常通りとなっている。被災地区の引き合いは比較的多いものの、全国的に在庫量が増加していることから、市況は弱含み傾向となっている。	やや緩和	弱含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	3月8日	復興需要向けに荷動きは堅調ながら、本格化はこれから。供給体制については、現時点では問題無く、平常どおりの供給が可能となっている。 販売筋では、復興需要本格化前に新価格体系への完全移行を目指しており、さらに売り腰を強める向きにある。	均衡	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
機械設備資材	配管資材	782	硬質ポリ塩化 ビニル管	3月9日	下水関連で荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先であり、いまのところ供給体制に問題はみられない。	均衡	横ばい